

日本共産党前都議会議員

# そねはじめレポート

東京都知事選特集号

発行：そねはじめ事務所

〒114-0032 北区中十条2-11-6

Tel：3907-1135 Fax：3906-3225



## 宇都宮けんじさん 都知事候補に

弁護士の宇都宮けんじさんが12月16日投票日の東京都知事選挙に敢然と立候補宣言をしました。メインスローガンは「人にやさしい東京を」。4期も続いた「石原都政」は、東京を「弱いものいじめのまち」にしてしまいました。その都政の再来や、継承を許さぬ凛（りん）とした姿勢が持ち味の宇都宮さんに、今、都民の熱い視線が送られ期待の聲が高まっています。



前都議会議員のそねはじめさんは、「石原氏退場で、多くの方が喜んでいきます。『宇都宮都知事のもとでそねさん

もやりがいがあるね』などと声をかけてくれます。東京は、石原都政のもとで、世界で最も深刻な「貧困と格差拡大の都市」になってしまいました。民主党に期待した方も「裏切られた」と、みなさん思っています。自民党と公明党の都政は、けっきょくは石原氏の暴走にアクセルをふんで加速させるものとなりました。新銀行問題をはじめ、巨額の予算無駄遣いも深刻になっています。

「さあ、都政を大改革するときが来ました。」と述べています。

「使い捨て」「ぼろぼろ」の労働環境をただして欲しい。何よりもすぐに仕事を。この願いに応える宇都宮さん。私もがんばります。

## 人にやさしい東京をめざして



宇都宮けんじ弁護士

都民みんなの声に耳を傾けて、「東京の難問」の解決をはかります。（2面詳細）

### 実現します 4つの柱

- (1) 誰もが人らしく、自分らしく生きられるまち、東京をつくります。
- (2) 原発のない社会へ—東京から脱原発を進めます。
- (3) 子どもたちのための教育を再建します。
- (4) 憲法の生きる東京をめざします。

### 宇都宮けんじさん 私も応援します

若い人たちは、貧困に真正面からぶつかり、がんばってきた宇都宮さんに大きな期待を寄せていま



# 池内さおりです

そねはじめホームページは <http://www.kitanet.ne.jp/~sone/>

「人にやさしい東京」をめざして都政で実現をめざす4つの柱

宇都宮健児東京都知事  
予定候補の訴え(要旨)

私は、多重債務の問題をはじめとして、弁護士として貧困の問題に長くかか

# 「人にやさしい東京」をめざして

## 実現します 4つの柱

わってきました。「年越し派遣村」では名誉村長をつとめ、その後、完全無派閥の弁護士としては初めて日弁連会長となり、人権擁護活

動や、東日本大震災と原発事故の被災者・被害者支援などに取り組んできました。やさしさこそ本場の強さだと、私は確信します。

(1) 誰もが人らしく、自分らしく生きられるまち、東京をつくりまします。

貧しい家庭で育った私は、誰もが人間らしく、そして自分らしく生きられる社会にしたいという思いで、弁護士になりました。「何が無駄といつてまず福祉」という姿勢の前都政のもと、破壊されてきた東京の「生きやすさ」を、私は再建します。私は、若者もお年寄りも、女性も男性も、障がいのある人もない人も、みんなが参加できるまち・東京をつくりまします。雇用の拡大のための施策、失業時の所得保障を充実し、人間らしい働きかたのできる東京をめざします。

私は、高齢者や収入のすくない人、自営業者にさらに負担を強いる消費税引き上げに反対します。東京にシャッター街は似合いません。大規

模再開発などの支出を見直し、福祉・医療を充実できる財政を確立します。

(2) 原発のない社会へ—東京から脱原発を進めまします。

東京の責任を自覚し、福島をはじめとする被災地への支援、再生可能エネルギーの普及、脱原発のために東京都ができるあらゆることを実施していきます。

(3) 子どもたちのための教育を再建します。

私は、自由と自治の気風があふれる東京の学校を再建します。教育現場が自由であるほど、子どもたちにとっても良好な教育環境と成果がもたらされることは、諸外国の例を見ても明らかです。前都政が進めた「日の丸・君が代」の強制によって、多くの教育関係者が言葉に表せない苦しみを強いられてきました。私は「上から目線」の教育の統制に反対し、自由で生き生きとした教育をつくりまします。学

校選択制などで競争をあおるのではなく、着実な教育インフラ整備をはじめとする、子どもたちにあたたい教育行政に転換し、いじめ問題の解決に取り組まします。

(4) 憲法のいきる東京をめざします。

憲法は、戦後日本の平和の基盤となってきた宝です。私は憲法「改正」に反対します。前都政では、アジア諸国をはじめとする都市との交流は停滞しました。私はそれをすぐに再開します。沖縄の人々とともに、自治をまもる立場からも、普天間基地の辺野古移転、欠陥機オスプレイの配備は認めません。米軍基地のない東京をめざします。

憲法9条とともに、憲法25条は、「反貧困弁護士」としての私のライフワークです。

都民みんなの声に耳を傾けて、「東京の難問」の解決をはかりまします。

4期つづいた石原都政のもとで、都政には課題が山積しています。

オリンピック招致、築地移転問題、新銀行東京、尖閣諸島買収で集めた寄付金の処理など、前知事が突然放り出してしまった課題は、「強いリーダーシップ」という名のもと、都民の声に耳を傾けない強引な施策によって引き起こされてきました。

「解決」を押し付けることは、本当の解決にはなりません。私は、パブリックコメントはもちろん、タウンミーティングなどを積極的に開催し、住民参加のもと、実質的な議論を丁寧に進めて、着実に解決していきます。それこそが、自治とコミュニティの中で求められる本当のリーダーシップだと考えるからです。

東京は変えられます。人と人が支えあう、もつとあたたかい社会に変えることができます。誰かが変えるのではなく、私たち自身の手で、変えることができます。それが今度の都知事選挙なのではないでしょうか。